

## 学校関係者評価

2025年1月18日（日）午後1時

委員：荒井栄子（一般市民）、清都真由美（卒園児保護者）、宮本真規子（前保育園所長）

学校評価委員会は幼稚園教諭による自己評価一覧 - 職員編を検討 -

2023年度の学校関係者評価委員会で検討したことを確認し、2024年度の全教諭の集約した評価表公表用の報告を受け検討した。

委員による自己評価についての見解

- 1) 職員が不足している中、それぞれが協力しながら取り組んでいる。
- 2) 園児数が少人数である特性を生かしての保育が為されている。
- 3) 基本の方針は継続していくことが望ましい。

運営全般についての見解

- 1) キリスト教保育を目指しているので、その理念が全体に行き渡るように工夫をすることが望ましい。
- 2) 支援を必要としている子への配慮を工夫し、専門機関との連携が為されていることは望ましいことであるので、継続していく必要がある。
- 3) 正職員が研修を受けているのに比較し、非常勤の職員の研修が少ないので、今後、研修の機会を作る必要があるのではないかな。
- 4) バスに安全システムは取りつけたので、より一層安全は確保されているが最終的には人が確認することを継続する。
- 5) 園内研修が行われていないが、それを補う意味で外部で受けた研修の感想などを互いにシェアしていることは望ましいことである。しかし、時間をとって園内研修をすることが必要であろう。
- 6) 危機管理マニュアルについての研修をする予定であったが、それを実現出来ていないことは反省点であろう。次年度は時間を作る工夫をして園内研修を実施する必要がある。
- 7) 教諭不足を補うために、今後更に教諭募集を継続していくことが必要である。
- 8) 自己評価を早めにしてもらうように改善する必要がある。

職員の話し合いを経て、委員会を早めに開くよう心がけることが求められる。